

CU三多摩ニュース No.46

2019. 5. 20 編集人 宮本 一

コミュニティユニオン東京三多摩協議会

〒185-0034 国分寺市光町 1-40-12

北多摩西教育会館内

Fax 042-571-1166 / 090-2247-1166

Email cu3tama@abeam.ocn.ne.jp

第90回

三多摩メーデーに 3000 人

CU活動に関心広がり



快晴となった5月1日、第90回三多摩メーデーは井の頭公園西園を会場に昨年を上回る3000人の組合仲間が参加し、「安倍改憲許すな、最低賃金1500円を実現しよう」の要求を響かせ、交流を深め合いました。

とりわけ会場ではCU東京の横断幕が目を引き、統一地方選を闘った議員から労をねぎらう挨拶があったり、労働相談を解決した他の組合から感謝されたり、「リーフを数枚いただけませんか」と、メーデー参加でCU東京への関心の広がりを感じる状況でした。

デモ行進終了後、昼食懇親では他の団体のメーデー参加者と合流し、CUの活動を説明と合わせて組合加入と連携を訴えました。(宮本)

安倍改憲許すな、6万5千人

5月3日憲法記念日、「平和といのちと人権を!許すな!安倍改憲発議5・3憲法集会」(実行委員会主催)が会場の有明防災公園で開催、6万5千人



人が参加、CU三多摩の仲間も参加しました。

安倍首相が執念を燃やす9条改憲、音楽評論家の湯川れい子さんが批判し、沖縄新基地への土砂投入やめよの圧倒的民意を示した沖縄住民投票、その共同代表の元山さん(大学院生)も、安倍政権の対応に「民意とはいったいなんですか?」と怒りの声を上げました。集会後、2コースでパレードが行われ有明・豊洲地区は「安倍政権退陣!9条改憲ノー!、許すな改憲発議!許すな沖縄の民意!」の音が響きました。

和解解決—会社清算の企業と

通勤災害で労災適用中に解雇!

M社に勤めるSさんは帰宅途中に駅階段から転落。頭がい骨骨折、腰部打撲など負傷をしましたが、通勤災害の労災手続きがなかなか行われず心配になり、知り合いの組合員を通じてCU三多摩に相談がありました。

Sさんの通勤災害(労働災害)は、合理的な経路及び方法での通勤途上での事故であり労災保険法上、保障されるのが当然の権利であり、団体交渉以前の問題であるとして、組合はすぐに労災の手続きをするよう会社に申し入れをしました。結果、遅れながらもきちんと手続きが行われ、休業補償の給付もスムーズに行われました。

会社清算・解散でも、労働者への誠実な説明と誠意ある協議は当然の責任!

労災適用の相談中、残業代と割増賃金の不払い

の問題もあると分かりましたが、ケガの回復状況を見ながら、団体交渉をすすめる検討をしていました。が、M社が解散・清算をするとの情報が寄せられ、急遽「本人は無期雇用の労働者であり、労働災害で休業中だが職場復帰に向けて懸命に治療している最中であり、労働者に対してより丁寧な説明をするとともに今後についても誠実な協議・対応が必要。また、残業代の未払いについても早急な支払いを求める」として団体交渉を申し入れました。

団体交渉で、会社は「解散・清算であり社員全員退職という事なのでSさんにも退職を求める」と回答してきました。組合側は、退職を前提とした回答に対して「会社の解散・清算という状況にせよ実態としては無期雇用労働者の解雇と同様であり、誠実な事前協議や生活保障の必要性」について強く主張。第一回目の交渉は平行線となり合意に至りませんでした。双方とも協議の窓口を閉めずに引き続き解決に向けて誠実に交渉を続けていくことを確認。会社の解散日程が決まっている困難な条件の中でしたが、その後の2回の交渉・協議の結果、M社からも和解案がだされ解決金での合意となりました。

多摩稲城分会・第3回定期総会開催

地域に根差した労働運動をめざして

分会事務局長 尼崎学



分会総会で話す三宅 CU 三多摩書記長

5月11日、南多摩教育会館で、CU 多摩稲城分会の第3回定期総会を開き、委任状を含めて定

足数（過半数は27名）をこえて成立しました。総会の議事では、新年度の活動方針（多摩・稲城地域の労働者・市民に地域労組の存在を知らせる、労働相談活動の態勢を整える、80名の分会をめざす、など）、新年度の予算、安倍改憲阻止の特別決議などを全員の拍手で採択しました。最後に2019年度の新役員を選出し、終わりました。

その後、CU 三多摩協議会の三宅書記長が、地域労組・ローカルユニオンの必要性、CU 三多摩の4年間とこれからの目標（専従を採用し600名組合員をめざす）などを熱烈に訴えました。選出された新役員はつぎのとおりです。

分会長：大川宣弘、副分会長：渡辺基、事務局長：尼崎学、事務局次長：麻田瞳 役員：間島隆文、大隈真一、鈴木鉄夫、岡崎美江子、会計監査：稲富勉（敬称略）

CU東京の共済で、いのちもココロも助けられました。

寺川知子

病気知らずで、病院と無縁で医療費も払ったことがない私。それが、昨年暮れのCU東京創立10周年のレセプションでのこと。実行委員長で司会という責任に、緊張のあまり胸がバクバク。そのまま、気を失い、救急車で病院に運ばれました。入院は、12日間にも及び、検査、検査の毎日。どれだけの入院費がかかるのだろうと、入院中も心配ではなかった。

しかし、入院1日つき5000円の保障のある頼りになるCU東京の入院共済に加入していたので、12日間で6万円も給付されました。「CU東京の共済があなたを守ります」とCU東京の加入チラシに書いてある通り、共済が命とココロを守ってくれました。

いつ何時起こるかもしれない事故や病気です。入っていて良かった。皆さんにお勧めしたいです。万が一のとき、頼りになるCU東京の入院共済、交通災害共済が私たちを守ってくれます。

